

たんちょう先生の実験教室番外編

今月の野鳥

2014年10月

今年の夏は、愛媛に行くことができました。北海道とは違う気候や文化に触れることがで
きて貴重な経験をすることができました。松山城の濠でマガモを見られました。30度近い
暑さの中でしたが、水の中にいて気持ちよさそうでした。

9月の初めに、和琴半島を1周してきました。和琴半島はミンミンゼミの北限の地で、天
気も良かったので、たくさんの声を聞くことができました。帰ってくると私の家の周りは秋
の虫が鳴いています。一気に季節が変わったのを実感した瞬間でした。

ヒシクイ（カモ目カモ科）

Anser fabalis

☆全長 85cm

冬鳥として渡来するが局地的で、東北地方北部以北では旅鳥。
湖沼、池、水田、湿地などに生息する。くちばしが黒く、先が橙
色みのある黄色で、先端が黒いのが特徴である。

カモ目カモ科には、カモ類、ガン類、ハクチョウ類があるが、
一番首長いのがハクチョウ類で、次に長いのがガン類、一番短い
のがカモ類と形で見分けることができます。釧路地方ではシラル
トロ湖などにヒシクイが春や秋の渡りの時期に見られます。また、美唄の宮島沼ではマガンが数千羽見られるこ
とができます。このように、太平洋側と日本海側では渡
ってくるガン類が違います。

シラルトロ湖では、9月ごろから徐々に増え始め10
月下旬から11月上旬にかけてピークを迎える、数百羽の
ヒシクイを見ることができます。時折、違う種類のがん
も迷ってくるので、そういうガンを探すのは楽しいです。

ちなみに、10年ほど前に住んでいた浦幌町では毎年
10羽ほどのハクガンが渡ってきていました。今では、かなり多く
わたるようになったそうです。



2011年10月
シラルトロ湖



2011年11月
シラルトロ湖